

平成 29 年 12 月 27 日付【日本下水道新聞】  
関東支部 <2 社団と災害協定締結>  
川崎市 水コン協関東・管路協と

## 2 社団と災害協定締結

### 川崎市 水コン協関東・管路協と

川崎市上下水道局は11月20日に全国上下水道コンサルタント協会関東支部(菅伸彦支部長)と、11月24日に日本下水道管路管理業協会(長谷川健司会長)と災害時における下水道の復旧支援協力に関する協定を締結した。

災害時に管きよが受けた被害に対し、応急復旧とともに、本復旧に向け災害査定のための詳細な被害調査や資料作成にお

いて、発災直後からスムーズに体制を構築できるように、締結したもの。今回の締結により、水コン協関東支部では災害査定



金子管理者と握手を交わす菅支部長(上)、酒井専務

に向けての資料作成、管路協は管きよのデータ収集(二次調査)を行う。

同日に川崎市庁舎で開かれた締結式で、金子正典川崎市上下水道事業管理者は「災害時に向けて大都市、地元企業との連携を進めていたが、両協会とも熊本地震での支援



実績があり依頼させて頂いた。ぜひご支援いただきたい」と要望。菅支部長は「熊本地震では水コン協として初めて協定に基づく支援を行い、支援体制の充実を図ってきたところ。協力できることを光栄に思う」。管路協の酒井憲司専務理事は「災害はいつ起きるか分からない。協定締結を契機に日頃から情報交換を行いスピーディーな復旧に貢献したい」と意気込みを語った。